

東京五輪の星になれ——。明石市立望海中学校出身で中京大学4年の小西杏奈さん(22)が8月、インドネシア・ジャカルタであったアジア大会の競泳女子100m背泳ぎで銀メダルに輝いた。世界のトップスイマーは身長180cmを超

す選手もいるが、小西さんは159cm。筋力に裏打ちされた力強いストロークを武器に飛躍した。「東京五輪で必ずメダルを取る」と高みを見据える。

(藤井伸哉)



アジア大会競泳女子背泳ぎで「銀」

東京五輪メダルに照準

望海中出身・中京大の小西さん

小西さんは、豊岡市生まれ。小学校卒業後に水泳の強豪校の望海中に進み、親戚宅から通学した。中学1年で出場した全国大会のリレーで、表彰台に一步届かない4位となった。悔しさが原動力となり、同中で技術、精神両面の礎を培

中学時代に技術、精神の礎築く

アジア大会の競泳女子100m背泳ぎ決勝で銀メダルを獲得した小西杏奈さん(22)は8月29日、インドネシア・ジャカルタ(本人提供)

小西杏奈さん(22)



かわいい服は「お預け」

意外と華奢ですね、と持ちあげると、「いえいえ、私、脱いだらすごいんです。20年以上前に流行したCMに、似たようなフレースがあったんですよ。身長159cm。トップスう。食歩きやカラオケが大好き。練習がオフの日には「名古屋に遊びに行



が、25歳をこえせるようになった。平身強化の結果、一かきで進む距離が3割以上向上。4月の日本選手権は、自己記録を1秒以上縮める59秒02で制し、アジア大会の代表に選ばれた。アジア大会では、ライバルの酒井夏海選手に0.4秒後れを取ったが、日本勢のワンツーフイニッシュを実現。小西さんは「悔しい半面、ライバルと高いレベルで戦えて楽しかった」と振り返る。後半もヘッドを持続できず粘りが持ち味。長所を伸ばしながら前半のバサロ泳法を改善し、東京五輪では58秒台を目指す。卒業後も大学を拠点に練習を続ける意向で、現在は「スポンサー」を探す就活中という小西さん。

わわわ!! TOWN!

神戸・明石・三木



競泳アジア大会銀を報告 インドネシアで開かれたアジア大会の競泳に出場した小西杏奈選手(22)(中京大4年)＝写真＝が明石市役所を訪れ、女子100m背泳ぎでの銀メダル獲得を報告した。豊岡市出身で地元の小学校を卒業後、練習環境の充実した明石市立望海中で3年間を過ごした。和田満副市長と面会し、「僅差で敗れて悔しかったが高いレベルで戦えて楽しかった」と振り返った。



2018 9/17 読売新聞